

第33回日本保健医療行動科学会学術大会

健康でつながる調和的なライフに向けて — 行動変容へのホリスティック・アプローチ —

< 会 期 >

2018年6月22日(金)・23日(土)・24日(日)

(22日(金)はエクスカージョンのみ開催)

< 会 場 >

沖縄県男女共同参画センター「ているる」

(沖縄県那覇市西3-11-1)

基調講演「ナラティブと行動変容のからくりを脳科学から探る —科学の限界を見ずえて—」吉岡隆之(第33回大会長)

特別講演「何が人を変えるのか —ホリスティックコミュニケーションの実際—」黒丸尊治(彦根市立病院)

シンポジウムⅠ「語る・聴く・書く」
看護師の立場から「共感を目に見える形にする看護」岡 美智代(群馬大学大学院)
セラピストの立場から「心理臨床におけるアセスメント面接のコツ」山崎久美子(防衛医科大学校)
聞き書き作家の立場から「聞き書きとバタフライ効果について」小田豊二(編集者・聞き書き作家)

シンポジウムⅡ「健康でつながる調和的なライフに向けて」

医療の立場から「生活から学び、生活へと還元する地域医療をめざして」高山義浩(沖縄県立中部病院)

健康教育の立場から「琉球大学ゆい健康プロジェクト」神谷義人(名桜大学)

死生学の立場から「人々の会話、現代社会から見えてくるもの —治療・痛み・死生観・ユタ・終末行動・終末期医療・AI—」
近藤功行(沖縄キリスト教学院大学)

体験学習ワークショップ 「サイモントン療法」田村祐樹(NPO法人サイモントン療法協会)

「動作法」喜屋武 享(琉球大学) 「シンギング・リンヒーリング」石井豊子(音楽療法士)

「リラクゼーション下でのタッチング —受け手と実施者の相互交流—」山崎裕美子(姫路獨協大学), 佐藤都也子(四條畷学園大学)

「ラフターヨガ(笑いヨガ)」井上葉子(奈良学園大学), 安藤和子(ラフターヨガHAPPYクラブ) 「レイキヒーリング(仮)」(講師依頼中)

一般演題(口頭発表・ポスター発表) * 本大会では実践(事業・活動)の発表も募集しています!

エクスカージョン「佐喜真美術館」「首里城公園」(ガイド付, バリアフリー) (プログラム内容は一部変更される場合があります。)

▼最新の情報は本学会ウェブサイトをご覧ください▼

Photo by T. Yoshioka

●一般演題登録・抄録提出期限: 2018年3月31日(土) (発表者は事前参加申込も同時に行ってください)

■事前参加申込(登録)期限: 2018年5月31日(木) (当日参加も受け付けます)

■大会参加費(事前申込): 会員5,000円, 非会員6,000円, 大学院生4,000円, 学生3,000円
非会員一日参加者3,000円 (当日参加はいずれも1,000円増)



※基調講演, 特別講演, シンポジウムⅠ・Ⅱは公開プログラムです。
沖縄県の保健・医療・福祉関係者(学生を含む)の方は、安価で参加できます!
(▼詳細は本学会ウェブサイトをご覧ください▼)

大会長 吉岡隆之(大阪滋慶学園・奈良学園大学) 副大会長 高倉 実(琉球大学)

▼ 申込等の詳細は本学会ウェブサイト参照 ▼

j a h b s

検索



中川 晶作

第33回日本保健医療行動科学会学術大会実行委員会事務局

Email: 33jahbs @ gmail.com

〒631-8524 奈良市中登美ヶ丘3-15-1 奈良学園大学内

第33回日本保健医療行動科学会学術大会 吉岡隆之

主催 日本保健医療行動科学会
The Japan Academy for Health Behavioral Science



特別協力 沖縄県